



# 浅野さち 通信



ご相談は 090-1763-7785 浅野 まで  
発行者：市川市鬼高 1-14-3 令和3年3月発行

## 令和3年2月議会報告

いつも、皆様には真心からのご支援、ご理解を賜りまして誠にありがとうございます。

1月から2カ月に及ぶ緊急事態宣言が発令され皆様におきましては、不自由な生活を余儀なくされました。心よりお見舞い申し上げます。また、3月11日は東日本大震災から10年となりました。更なる復興を心よりお祈り致します。

2月議会が2月16日より3月11日まで開催されました。私は総務委員会に付託された、条例及び、令和3年度の予算を審議し質疑致しました。主な項目を報告致します。

防災・減災、国土強靱化の対策（避難所環境整備事業）1億6700万円  
事業内容（避難所環境の整備に必要な物品、感染症防止に効果的な物品を調達する。また、快適なトイレ環境を維持する為、避難所となる小学校、公民館のトイレの改修）



**質問** プライベートテントを購入する予定ですが、各避難所にどのくらい購入し、設置数はいくつか、また液体ミルクの管理状況を伺います。

**答弁** 小、中学校の各避難所に約13テント購入し、計25テント保管致します。また、公民館や憩いの場所にもそれぞれ保管致します。また、液体ミルクは約120個、危機管理室に保管し、災害時各避難所に配布致します。賞味期間が短い為、粉ミルクと共に併用しご家族に安心して避難できる環境を作ります。

**質問** 信篤地域における公共施設再編・まちづくり等支援委託料として、1000万円計上しておりますが理由と内容を伺います。

**答弁** 市は公共施設個別計画を策定しています。この計画では、4年を1期として、各施設の築年数ごとに計画が定められております。信篤図書館が令和5年度以降の第2期に建替え、信篤体育館が同じく第2期に改修、また信篤公民館、信篤窓口連絡所等が隣接しております。このような状況を踏まえると、地域コミュニティの再構築も含めた全体像を整理する必要があります。そこで、令和3年度では、地域の現況や施設の詳細調査をして課題を調査し、地域全体の将来像、公共施設の再編・整備の基本的な方向性の素案まで作成したいと考えています。その為の委託料です

## 要望！

今後、地域の皆様、体育館をはじめ各施設を使用している皆様のお声をしっかり聴いてほしい事を要望致しました。

## 議案第67号 市川市客引き行為禁止条例の制定についての質疑



**質問** 条例を制定することになった経緯を伺います。

**答弁** これまで市では、街頭キャンペーンなどの啓発活動を実施してきましたが、今年度に入り客引き行為に対する通報件数が増加し、アンケート調査やパブリックコメントを実施し、検討した結果、条例を設定することに至りました。

**質問** 第5条の「客引き行為等禁止特定地区」はどのように決めるのかまた、第14条の「過料かする為の手続きその他の行為をあらかじめ市長が指定する職員」とあるがどのように想定しているのか伺います。

**答弁** 「特定地区」は、今後商店会、自治会等のご意見を聞きながら選定を予定しています。また指定する職員は、警察OBでもあるマナー条例の指導委員が兼務する事を想定しています。

令和3年度決定事業の例を次に紹介します

- ① 妊婦健診や、出産の為の入退院等に使用できるタクシー料金の一部助成が開始されます。  
**助成額、1回1500円まで、最大34回です** 令和2年6月代表質問致しました。また、公明党市議団としてコロナ禍における要望の中で強く訴えておりました。
- ② 子どもの居場所づくり事業(拡大) 空き教室を利用して、放課後子ども教室を無料で開設  
3年度、信篤、二俣小学校をはじめ8カ所、10月をめどに開設予定です。
- ③ 橋りょう長寿命化計画事業、鬼高歩道橋(鬼高3丁目京葉道路の上)高欄や投げ入れ防止柵の交換等で予防保全を行う。
- ④ 継続事業、1 常夜灯公園眺望施設整備工事、眺望デッキの設置、2 小栗原架道橋の歩道部設置に向けた事業、設置行政市の船橋市に継続費として2分1負担致します。

### 実績!!

1. **勤労福祉センター本館のトイレ、洋式トイレに改修されました。**  
市民より、強く要望を受けておりました。洋式トイレへの改修について、勤労福祉センター運営委員会にて、質問、要望しておりました。使用者は高齢者の方も多く、また、避難所にも指定されている事から早期に改修すべきと訴え、この度洋式トイレとなりました。
2. **産後家庭ホームヘルプサービスにおける、産後家庭訪問支援ヘルパー派遣事業所に、2月より産後ドゥーラの登録が実現!!**  
現在、7名の方が登録しています。他の事業所を含め、11事業所に拡大しました。令和2年9月議会にて、事業所不足によって支援が受けられなかった事例を通し個人事業主である、産後ドゥーラを市に登録して頂き訪問支援の拡充を強く訴えました

**産後ドゥーラとは：**産後女性の心と体について学びお母さんをサポートする資格です。